



# 一般社団法人日本癌治療学会 がんnavi通信

Vol. 6  
2021夏



## がんと闘うランナー！医療機関とがん患者をつなぐ架け橋に！

がん医療ネットワークシニアナビゲーター 生川 晴美

2018年にシニアナビゲーターに認定されました。その後三重県で支援の活動を広げたく、2019年三重県でがんピアサポーター養成研修に参加、三重県がん相談支援センターのピアサポーターとして登録を行いました。がん経験者として、シニアナビゲーターとして患者さんの不安に寄り添うことができればと願っているのですが、これからの三重県内でのピアサポートの形が少しずつ出来上がろうかという折コロナ禍で活動が思うようにはなっていません。職場（私立医科大付属の病院）のルールで対面の会議の人数制限などにより、所属する患者会への参加も難しい状態でした。一方、オンラインによる会議や研修会が増え、以前では遠方で出向くことの難しかった東京や九州のがん支援のイベントや講演会に参加することができています。以前より多くの学びの機会が得られています。支援活動もオンラインサロンなどを三重でも実現してきていますので活かしていきたいと思っています。

私はランニングや登山、川下りなど野外で過ごすことが趣味です。仲間と大会やイベント、SNS上でつながることが楽しく、実際の野外活動と同じくらい楽しみの一つになっています。そういった場でがんになったことやがん患者さんの支援をしたいから学んでいることを話す機会もあり、私がナビゲーターやサポーターの活動をしていることが仲間知られていくようになりました。その中でがんになったランナーや、家族や友人が罹患した方からの相談をされることも増えてきています。健康的なグループですがやはりがんは他人事ではありません。中には直接お会いしたことがないが噂で聞いたので相談したいという方も数名ありました。がんになったからもう走らないほうがいいのかという趣味に関するものもありますが、受けている治療に関する疑問や不安も寄せられます。私は彼らと同じ目線で気持ちを理解しうるナビゲーターとして力になればとがんナビで学べたことをうれしく思っています。

**がんだって働ける! 楽しめる!**  
**自身ががんになってもランニングを**  
**続けることで、伝えたい思いとは。**



今回この気持ちを理解していただき、聖火ランナーに選んでいただきました。偶然にもリンパ浮腫の主治医もリンパ浮腫の専門医がいることを知ってもらいたいと聖火ランナーに選ばれておりその姿にも勇気づけられました。いろんな意見がありますが、このような状況で以前よりがん患者さんは不安のやり場に困っているのではと思います。つながりたい思いと 少しでも明るい話題になればと走ってきました。がんでも人生諦めない、がん医療ナビゲーターっているのがいるよという思いです。スポンサーからしっかり取材していただき紹介をしてウェブに載せていただいています。

もしよかったらご覧いただけると嬉しいです。

<https://tokyo2020.torchrelay.toyota.jp/runner/no20/>

今はこのような状況ですし、私事ですが父が膵臓がんの再発でなかなか難しい療養生活を送っていますので まだ以前のように患者会に出向いたり、サロンに参加することは難しいですが できることもある！そう信じて頑張っていきたいと思っています。



コロナ化における癌患者在宅療養の変化について  
医療法人社団みのり会理事・本部長 がん医療ネットワークシニアナビゲーター 戸嶋 文紀

【1】活動紹介（法人紹介）

私が勤務しております医療法人みのり会は、現在埼玉県所沢市、東京都小平市にて癌患者様を中心とした訪問診療クリニックを運営しております。令和3年6月現在常勤医師6名、非常勤医師12名にて約100名前後の癌患者様の訪問診療をさせていただいており、毎月新規訪問診療依頼癌患者様数40-50名、癌によるご自宅お看取りの患者様が30-35名おります。私はそのような法人内にて、下記のような業務に従事しております。

- ・近隣病院・地域包括より紹介された癌患者様・ご家族様の相談(当院に関係ないことも可)
- ・訪問診療導入検討患者様・ご家族様への訪問診療の説明
- ・訪問診療癌末期患者様への最後の場所の相談（緩和ケア病院or療養型病院or老人ホーム等）

【2】数字でみるコロナ前・コロナ後の診療・相談件数

当法人内、コロナ化において特に変化があった件数の変遷となります。

		H30年度	令和1年度	令和2年度	
癌患者様訪問診療紹介数		378	410	651	
ご自宅看取り数	全体	177	208	334	
	うち独居	17	21	39	※看取り期前のみ独居も含む
在宅輸血依頼		19	26	42	
うち血小板通院あり		2	4	16	※初診時の記録より算定
化学療法 + 訪問診療併診数		12	16	52	

コロナウイルス発生後、全体的な訪問診療数も増加しておりますが、ホスピスなどに入院せずご自宅でのお看取り数の増加強く見られます。特に独居（日中独居含む）患者様の増加が顕著に見られております。ご家族様アンケート（診療終了後ご家族様へ無記名にて記載依頼）より入院後の面会制限より患者様へ強く入院を勧められず、独居だご自宅看取りを選んだとの回答を多数いただいております。独居の方がお一人でご自宅で最後を向かえるためには、頓服オピオイドの使用・管理方法やターミナルセデーションの活用、ご家族様のご理解や地域の介護職の方々のご理解など、通常のご自宅お看取りとは違う準備が必要となり、より院内の環境整備力が必要となります。また、血小板輸血中や化学療法中など訪問診療では難しい診療との平行して訪問診療を依頼していただくケースが増加しており、我々在宅医療側の人間が治療の継続の意思決定に関われるケースが増え、BSC後の信頼関係構築がしやすくなっております。

### 【3】癌末期訪問診療における10ヶ前・10ヶ後の主な変更点

#### ・退院時カンファレンスの減少

在宅医療やBSCへ移行する患者様において、すべての患者様が納得し移行しているわけではなく、治療を諦めきれないが病院の説得により訪問診療導入、BSCへ移行する患者様もおります。

そのような患者様に対し、退院時カンファレンスは在宅医療側と病院がしっかりと連携し患者様をサポートしていきますとアポールの場でもあったため、退院時カンファレンスの減少は患者様の不安感を強くしております。

#### ・介護サービスの減少

デイサービスなどのコロナクラスター、患者様発熱時の訪問介護の中止など在宅療養生活において、生活の根幹となるサービスの中止が見られ、衛生管理や内服管理、食事管理などの支障が見られる現状となっております。

### 【4】近隣大学病院にて地域医療機関向け講演会の様子

令和3年6月22日近隣大学病院にて、病院内の10ヶ治療について(感染症内科医)、今後のワクチンについて(大学薬剤師)と私の10ヶ後の在宅医療の変化についての勉強会を開催させていただいており、講演会の様子を貼付させていただきます。



2020第58回日本癌治療学会学術集会 会長シンポジウム  
がん診療連携を変える認定ネットワークナビゲーター



2020第58回日本癌治療学会学術集会 交流会



	シニアnavi	navi	e-LEARNING 受講者	受講者数
北海道	10	32	7	40
青森県		7	2	9
岩手県			1	1
宮城県		1	2	3
秋田県		12	2	14
山形県	1	4	4	8
福島県	1	6	8	14
茨城県		2	2	4
栃木県		3		3
群馬県	10	16	13	37
埼玉県	5	12	23	37
千葉県		8	16	24
東京都	4	44	48	94
神奈川県	3	14	21	38
新潟県	1	5	6	12
富山県				0
石川県		1	3	4
福井県		1	1	2
山梨県				0
長野県			3	3
岐阜県	2	5	4	9
静岡県		9	4	13
愛知県	2	11	10	22
三重県	3	6	2	9

	シニアnavi	navi	e-LEARNING 受講者	受講者数
滋賀県	3	3	5	9
京都府	2	3	2	6
大阪府	4	19	21	41
兵庫県	2	5	7	14
奈良県		3	1	4
和歌山県				0
鳥取県		1		1
島根県			1	1
岡山県	2	10	2	12
広島県	3	11	5	18
山口県		1	4	5
徳島県	1	1		1
香川県		2		2
愛媛県	1	8	1	9
高知県	1	2	3	6
福岡県	11	209	83	298
佐賀県	1	6	6	13
長崎県		9	14	23
熊本県	15	49	39	99
大分県	2	28	9	38
宮崎県		2		2
鹿児島県		4	7	11
沖縄県		2	6	8
合計	90	577	398	1021

2021.7.18現在

編集：広報ワーキンググループ委員長：矢野篤次郎(別府医療センター病院長)  
連絡先：一般社団法人日本癌治療学会 navi@jscor.jp